

現在の運営状況は？

放課後児童クラブ

(新政クラブ)

問 少子化問題改善のため、 子育て支援事業が推進さ

されているが、放課後児童クラブの運営について、本市の設置状況、指導員の配置状況と今後の課題を問う。

また、対象児童が6年生までとされたことについて、市はどうのように考えているのか。

答

答 放課後児童クラブの設置状況は、現在、全小学校区25か所で合計27のクラブを設置している。指導員は県や学童保育連絡協議会などが実施する研修会に参加しており、配置人數は児童20人当たり指導員1人の配置を基準として、最低でも2名を配置している。支援が必要な児童が利用する場合には、その程度により指導員を増員し学校、保育所、ウイングサポートセンターなどの関係機関と連携して情報交換を行つて いる。課題としては、公民館などに設置している児童クラブでは、運動場がないところがあり、遊び場の確保が挙げられる。



放課後児童クラブ

風疹予防接種

市の取組は？ (リベラル西条)

風疹予防接種

市の取組は？ (リベラル西条)

問

全国的に風疹が流行しているが、妊娠中の女性が

学年延長については、児童福祉法の改正により、対象年齢が概ね10歳未満だったものが、対象が6年生まで拡充された。今後、新制度の円滑な施行に向け本市においても施設や指導員の確保、学校との連携など、さまざまな問題はあるものの、国の動きに沿って適切に対応したい

風疹に感染すると、赤ちゃんに先天性風疹症候群が起こる可能性がある。今年は、20歳代、30歳代の風疹患者の占める割合が5割を超えており、予防接種の呼びかけや首都圏などでは接種の費用助成が行われている。

愛媛県内と本市における風疹発生状況と、予防接種の実施状況はどうか。また、予防接種の啓発と任意接種者への対応について、市は、どのように考えているのか。

教育行政に対する

(西条市民クラブ

問 受験戦争を招いた説

至つたゆとり教育など、国が打ち出した教育方針であつても、イナス面があり、万全でないことは明らかである。西条で生まられ、西条で育つ子どもたちのために、そのときどきの政治に振り回されることのない独自の教育方針を考え、子どもたちを第一義として教育行政に当たつてもらいたい。新教育長の教育行政に対する方針について問う。

答 教育は、基本的に人と人との関わりであり、愛情と信頼、心と心の通じ合いをもつて一人一人にどう関わるかに尽きるのではないかと考えている過去の外から力を加える盆栽型

教育から、子どもが自分自身の個性を伸び伸び表現できるよう、その子に合った教育を施す木づくり教育を進める必要があることから、今後、次の3つのスタンスで教育行政に当たりたい。

1つ目は、普遍性（不易）で、時代を超えて変わらない確かなものを見つめ、それを柱に据えて指針としていく必要がある。学校教育における知・徳・体の調和のとれた児童・生徒の育成は、人間として生きる最も大切な要素であり、生きる力を身に付けさせることは、いつの時代にあっても変わらないもので、社会教育においても同様である。

2つ目は、時代性（流行）で、国際化や情報化など、急速に進展する社会の変化に的確に対応する必要があり、時代の変化や情勢を分析して施策を開発し、教育効果を最大限に高めることを考えなければならない。

3つ目は、地域性で、各校区には、特有の自然環境や独特の歴史・文化・芸能があり、年間を通して活動できる自然環境を生かした教育や伝統文化・芸能を取り入れた特色ある学校づくりや地域づくりを推進し、ユニークな活動を進めたい。